

憂楽帳

秋田美人

「秋田美人」は、日本三大美人の一つ(他は、京美人、博多美人といわれる)。町の中を、演歌歌手の藤あや子さん(秋田県仙北市角館町出身)のような女性ばかりが歩いているわけではないが、確かに存在する、と思う。

現在、「秋田の肌美人コンテスト」などを実施している秋田市の女性社長、野澤一美さん(44)。約20年前、秋田駅に降り立った時、「色白の女性ばかり。日本人でないようだった」と、秋田の女性を見て驚いた。

秋田美人の特徴は、色白で二重。なぜなのか。日照時間が短い、冬に乾燥しない、県内を流れる雄物川の水に漂白作用があるから——などと、いろいろな説が乱れ飛ぶ。その中で野澤さんが強く信じているのが「ロシアの血」説。彫りが深く、目はぱっちりとしたかわいらしさが、西洋人を感じさせるからだという。

秋田を代表する「なまはげ」も、男鹿半島に流れ着いたロシア人だとする説がある。似ても似つかぬ秋田美人となまはげだが、二つ並べてはるか昔に思いをはせるのも一興だ。【松永東久】

2009. 9. 26